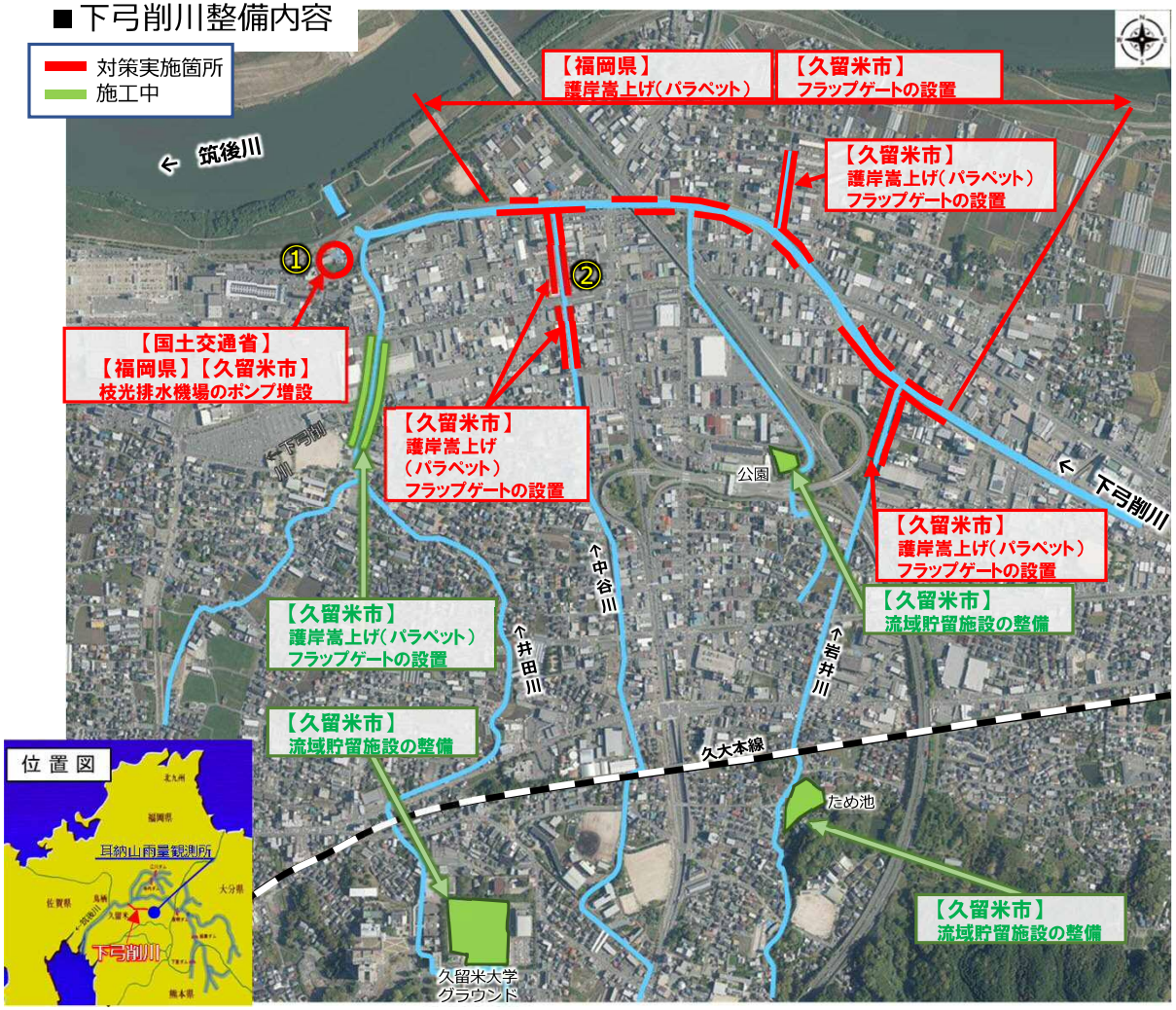
流域治水による効果（筑後川水系下弓削川）

速報値

○平成30年７月洪水により下弓削川流域等で生じた浸水被害の軽減を目的に、国による枝光排水機場のポンプ増設（既設15m3/s＋増設11m3/s）、県・市による下弓削川の護岸かさ上げなどの河川改修を実施。
○ 今般の洪水では、大きな浸水被害が発生した平成30年７月洪水を上回る12時間最大雨量を観測（耳納山雨量観測所において365mm/12h)。
○ 平成30年７月洪水では、下弓削川流域で458戸の床上浸水被害が発生したが、国県市による一体となった治水対策の効果により、床上浸水被害は約280戸に減少。

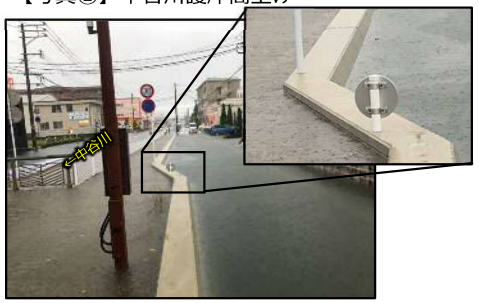
■下弓削川整備内容

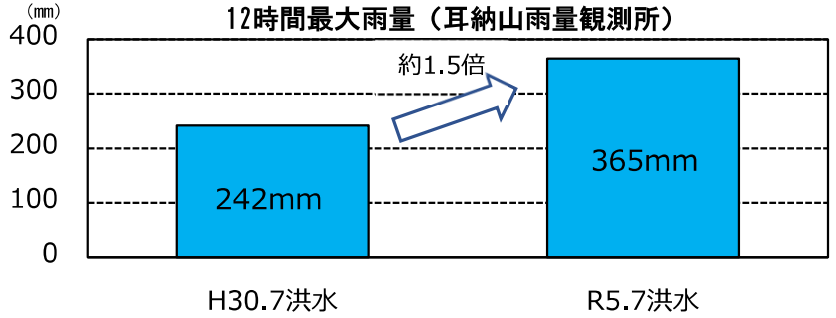


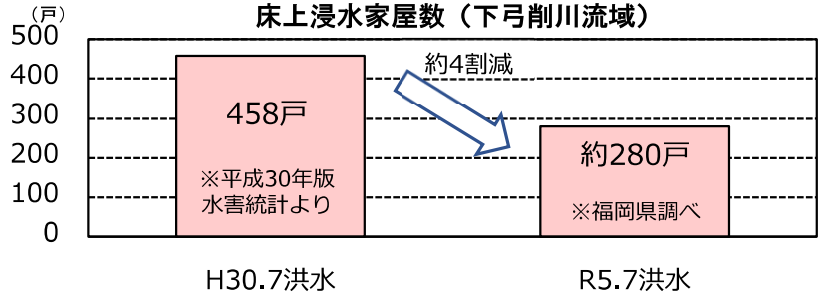
【写真①】枝光排水機場のポンプ増設



【写真②】中谷川護岸嵩上げ







※速報値のため今後変更となる可能性があります。